

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区　名	東淀川区
学校名	大隅東小学校
学校長名	山崎　直樹

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただけ、教育活動にご協力いただけたため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大隅東小学校では、第6学年 33名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

3教科とも全国平均を下回っており、特に算数の差が大きい。
■全国との比較(※全国比は全国平均を1として大隅東小学校の割合を表したもの)
国語…正答率：59%（全国比：0.88）全国平均より約8ポイント低い。
無回答率：3.8%（全国比：+0.5%）全国平均より約0.5ポイント高い。
算数…正答率：47%（全国比：0.81）全国平均より約11ポイント低い。
無回答率：3.9%（全国比：+0.3%）全国平均より約0.3ポイント高い。
理科…正答率51%（全国比：0.89）全国平均より約6.1ポイント低い。
無解答率：9.3%（全国比：+6.5%）全国平均より約6.5ポイント高い。
■前年度との比較
国語…正答率：+5ポイント（54→59）全国比（0.80→0.88）無回答率：6.6%→3.8%
算数…正答率：-7ポイント（54→47）全国比（0.85→0.81）無回答率：4.9%→3.9%

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

■成果
前年度との比較において、無解答率の改善は全体的に好材料と考えられる。昨年度までの2年間は学校として国語科の授業改善に取り組んだことにより、児童が記述式問題に取り組む姿勢が改善されたと考えられる。算数科において全国比では差が大きかつたが、6学年の児童としては、[学力向上支援チーム事業]「ブロック学力推進事業の実施」による放課後ステップアップなどの取り組みなどにより、前年度から学習を積み重ねており、算数の学力を伸ばしてきている。

■課題
【国語】記述式問題について課題がある。読解力と記述力の底上げが課題。特に「根拠を示して書く」問題での得点率が低い。
【算数】無解答率は国語と同程度だが、正答率は低いことから、「考え方の理解」や「表現力」に課題があると考えられる。特に「割合」「単位量当たりの大きさ」など抽象的な概念の理解が課題。思考力・表現力の育成が急務。
【理科】正答率と無解答率との差は、記述式問題や実験考察問題に対する苦手意識や時間不足が影響している可能性がある。知識問題は安定しているが、思考・判断・表現領域に課題がある。

質問調査より

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」については、全児童が肯定的に回答しており、非常に高い意識がはぐくまれている。また、「人の役に立つ人になりたい」の肯定的な回答の割合が9割を超えており。全国平均よりも高い水準で、昨年度も高い水準を維持していた目標で、継続的な道徳教育やキャリア教育の成果と考えられる。自己肯定感につながる質問については、「自分にはよいところがある」の肯定的な回答の割合が8割を超えており、「先生はあなたの良いところを認めてくれていると思う」では9割近くが肯定的に回答しており、担任や教職員との信頼関係が築かれていると考えられる。
しかし「学校に行くのは楽しいと思う」について、肯定的な回答が全国平均よりも15.7ポイント低い。また「将来の夢や目標を持っている」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方につけていている」について、肯定的な回答が全国平均より16~18ポイント低い。
大隅東小学校の6年生児童は、人間関係や道徳的価値観に関する項目で非常に高い意識を持っており、教職員との人間関係も良好だと考えられる。一方で、学校生活の楽しさや将来への展望、学びの深まりに関する項目では全国平均や昨年度と比較して課題が見られた。

今後の取組(アクションプラン)

■学習
・国語…記述式問題への段階的アプローチを児童の実態に合わせて取り組む。
・算数…抽象的な概念理解において、図やモデルを用いて視覚的理の促進を図る。
・理科…観察→記録→考察の流れを丁寧に指導し、活動を通じた「考察力」を育成する。
■学校生活
・学校生活の楽しさの再発見や居場所づくりの工夫に取り組む。
・キャリア教育や夢を語る機会の充実を図る。
・話し合い活動の質や児童の主体性を高める工夫に取り組む。

【 全体の概要 】

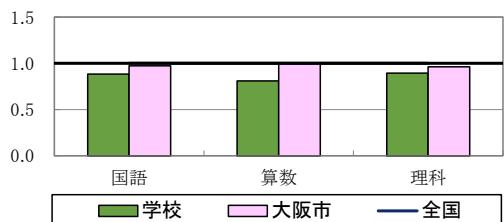
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	59	47	51
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

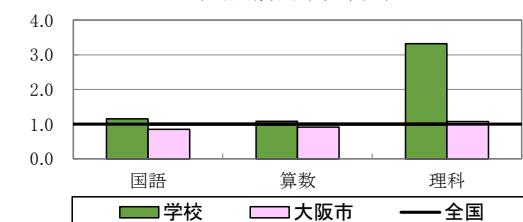
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	3.8	3.9	9.3
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



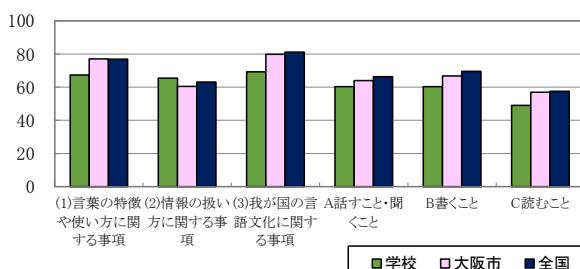
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	67.3	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	65.4	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	69.2	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	60.3	64.0	66.3
B 書くこと	3	60.3	66.7	69.5
C 読むこと	4	49.0	56.9	57.5

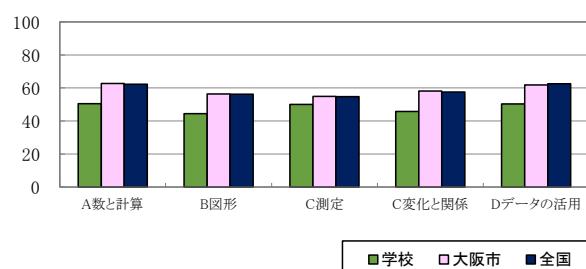
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	50.5	62.7	62.3
B 図形	4	44.4	56.4	56.2
C 測定	2	50.0	54.9	54.8
C 変化と関係	3	45.7	58.2	57.5
D データの活用	5	50.4	61.9	62.6

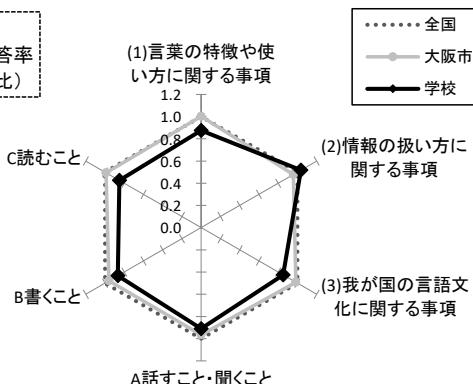
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



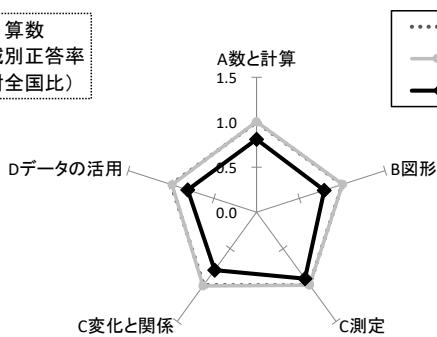
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

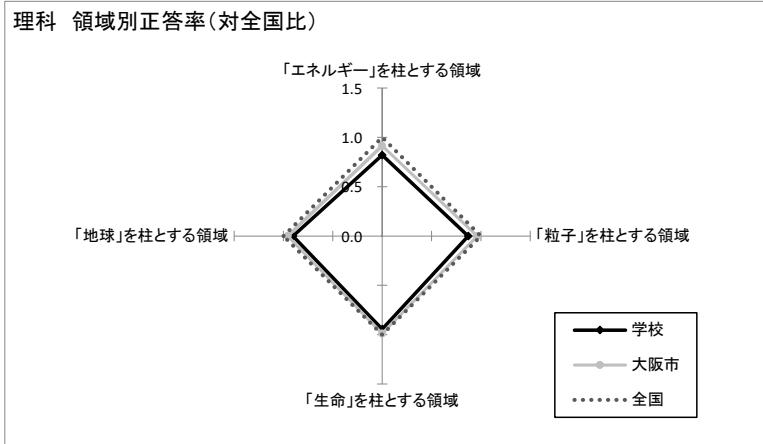
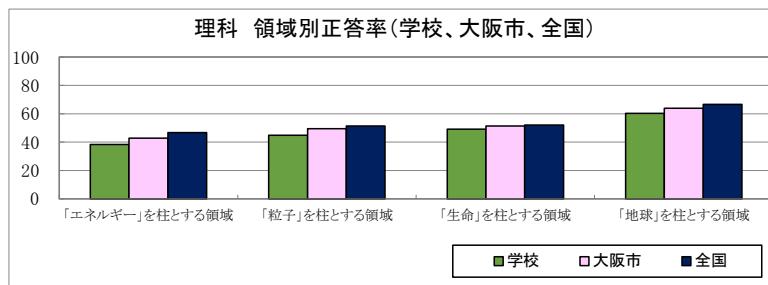


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分 「エネルギー」を 柱とする領域	4	38.3	42.7	46.7
	6	44.8	49.5	51.4
B 区分 「粒子」を 柱とする領域	4	49.1	51.4	52.0
	6	60.3	63.8	66.7



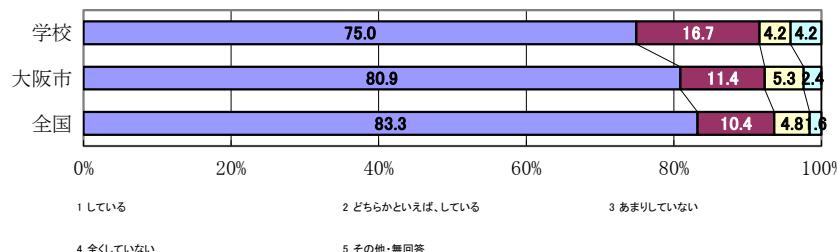
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

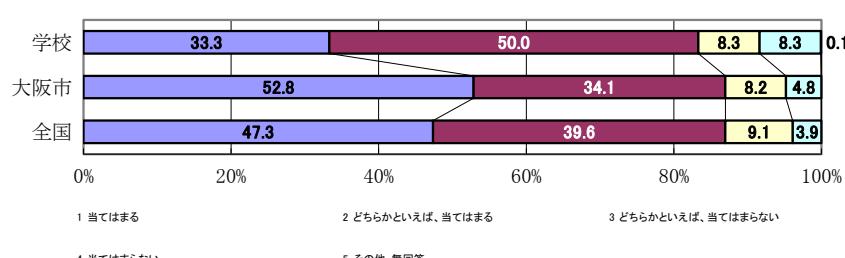
1

朝食を毎日食べていますか



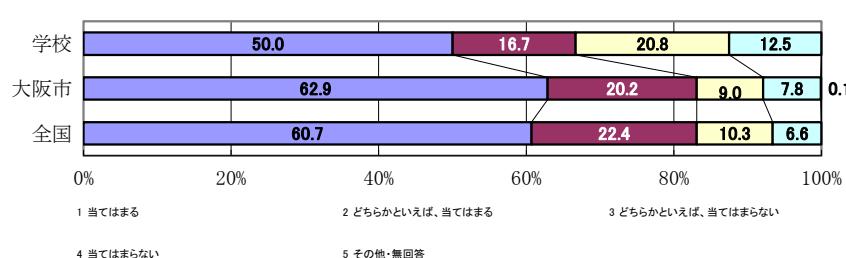
5

自分には、よいところがあると思いますか



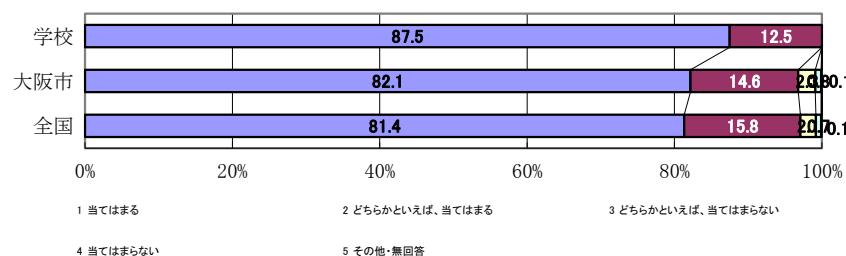
7

将来の夢や目標を持っていますか



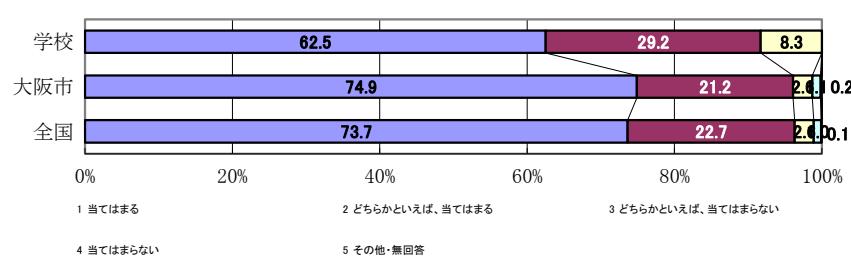
9

いじめは、どんな理由があつてもいいことだと思いますか



11

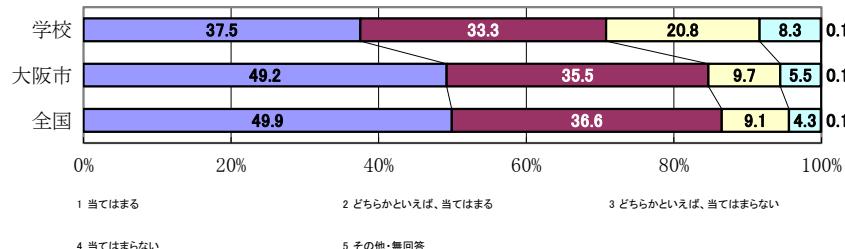
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



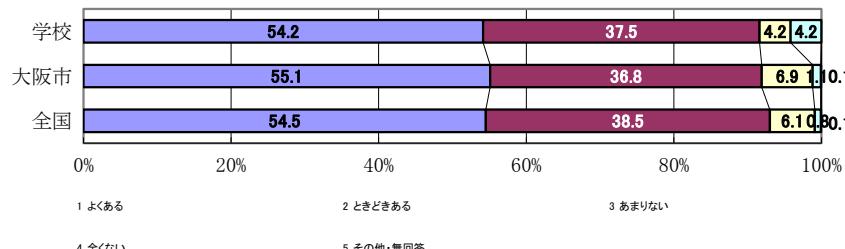
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

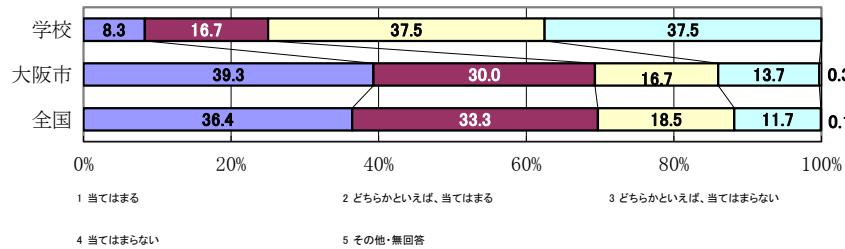
質問番号
質問事項
12
学校に行くのは楽しいと思いますか



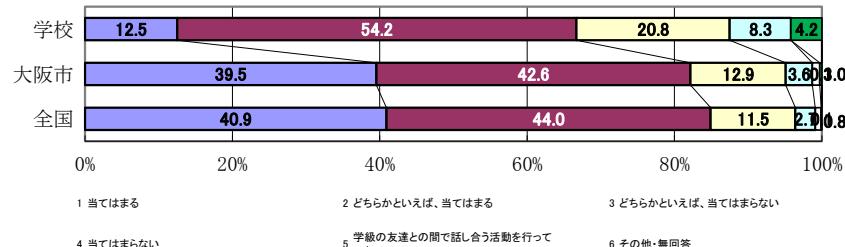
15
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



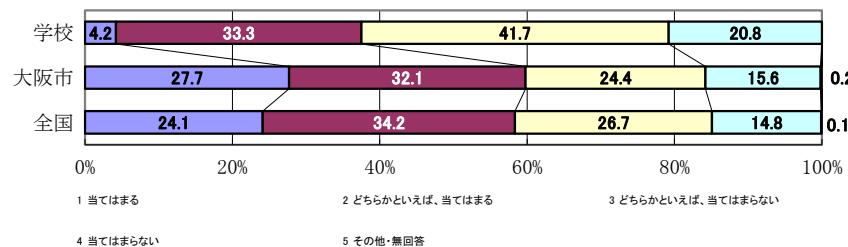
24
読書は好きですか



35
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか



45
国語の勉強は好きですか



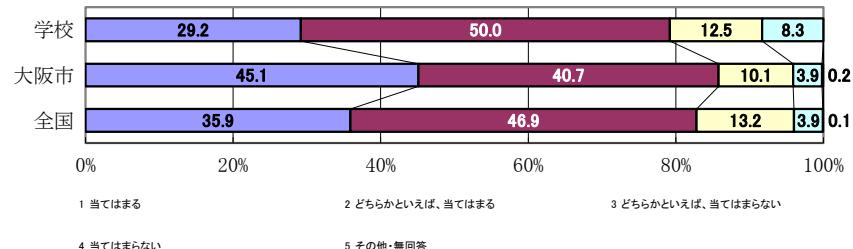
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

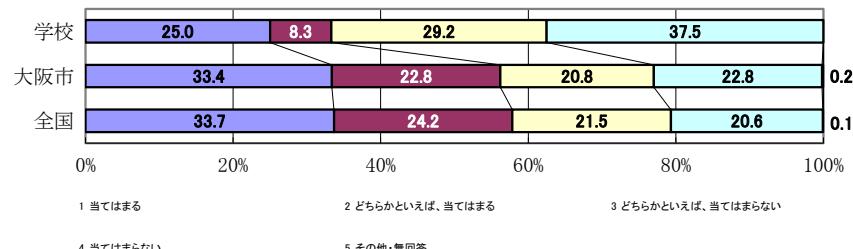
46

国語の授業の内容はよく分かりますか



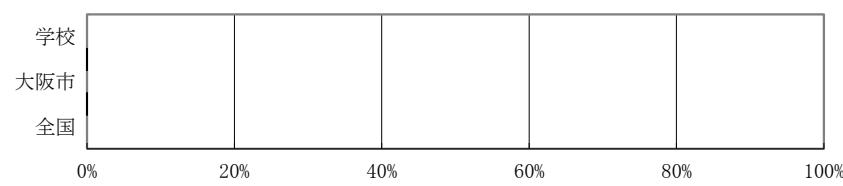
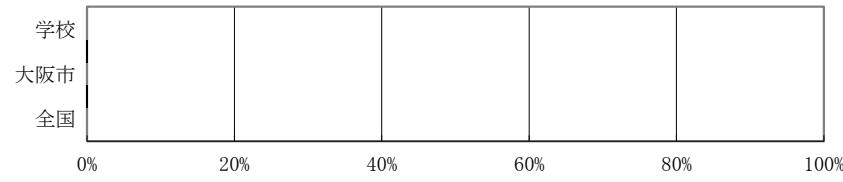
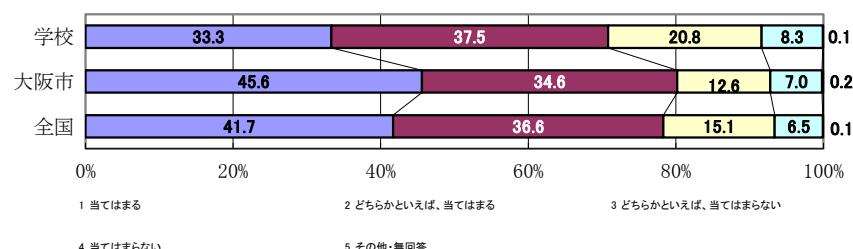
53

算数の勉強は好きですか



54

算数の授業の内容はよく分かりますか



学校質問より

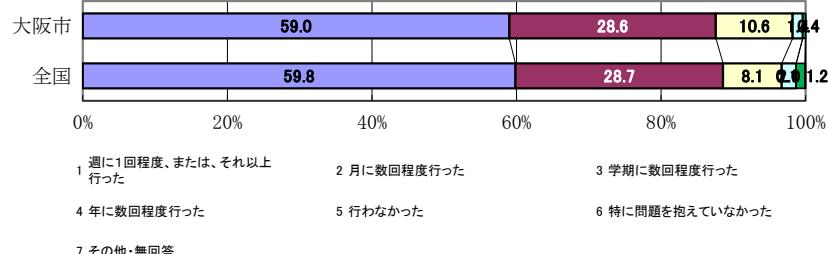
■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■ 9 ■ 10

質問番号
質問事項

12

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

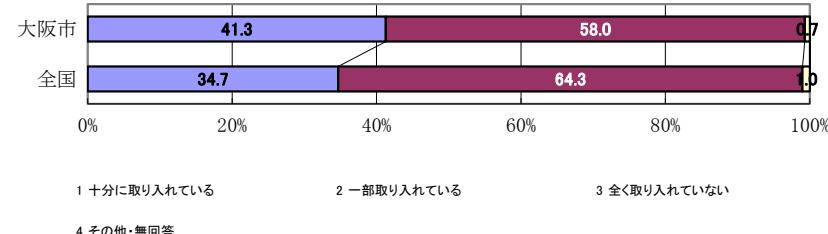
学校 「月に数回程度行った」を選択



13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

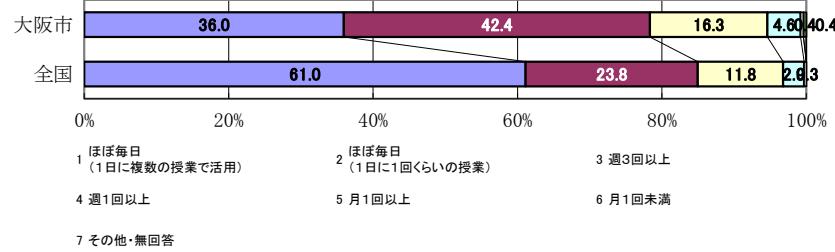
学校 「一部取り入れている」を選択



58

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

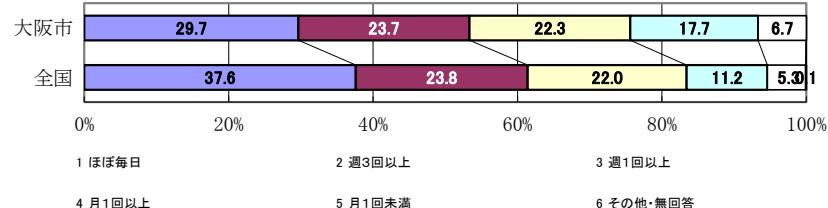
学校 「ほぼ毎日(1日に1回くらいの授業)」を選択



61

教職員と調査対象学年の児童がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「週1回以上」を選択



66

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

学校 「時々持ち帰って、時々利用させている」を選択

